

## 未来の科学者の皆さんへ

皆さんが理科に関心を持ち、活動されていることを聞き、大変嬉しく思います。

昨今、「理科離れ」が進んでいるということを耳にしますが、日本のような資源の少ない国が生きるためには、付加価値の高いものを作る新しい方法を見出し、それを世界中の人々に喜んで使ってもらうことが重要です。そのためにも、あなたたち若い世代がサイエンスやテクノロジーをもっと理解し、世界へ向けてその可能性を広げてもらいたいと心から願っています。

また、理科だけに限らず、若いうちから「最初から独創的なことをやってみよう」、「早く目標を決めねば」などと焦る必要はありません。色々なことに興味を持ち、本を読み、先生、先輩や他の人から教えてもらって学んで行けばよいのです。「学ぶ」というのは「まねる」ということ。数々の出会いや勉強を重ねていくうちに、「これはおもしろいからやってみよう」と自分で決めるようになります。そうやって自ら目標を見つけたら、自ら考えて、あきらめずに努力を続けていくことが大切です。

もう一つは「海外に行く」こと、それもできるだけ若い時期に海外に行くことも大事です。海外に行けば、これまでとは何もかも違う世界のことを身をもって体験できます。今まで会ったことのないような人と出会って、自分の世界を広げることができます。

人には、人数分だけ生き方があります。しかし結局は、様々な仕事、出会い、見聞をすることで、自分の世界を広げることに尽きると思います。

皆さんがこれから、自分のどんな世界を広げていくのか、それを楽しみにしています。

2011年10月18日

鈴木章

鈴木章  
(鈴木章)